

ふるさと目黒の
桜を後世に伝える

立会川緑道
サクラ再生
実行計画



サクラ再生
実行計画HP

立会川緑道の風情を残しつつ、新たな地域の魅力の創出へ

立会川緑道
サクラ再生
実行計画

品種の選定 立会川緑道は土壌基盤が浅く、根の生長が制限されることから、ソメイヨシノよりもやや小型の品種で植替えを行います。

将来像



碑文谷八幡宮から向原小学校

立会川緑道の風情を将来に引き継いでいくため、このエリアはソメイヨシノに似た雰囲気のコシノヒガンで植替えを行います。



将来像



向原小学校から補助46号線

カワツザクラにより植替えを行うことで特色のある風景を創出します。

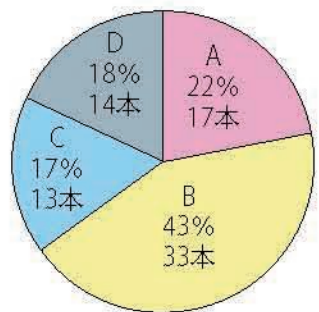
桜の写真提供：(公財)日本花の会

桜並木の現状

植栽後50年以上が経過し、全体的に生育があまりよくなく、樹勢が低下した桜が見られます。

平成30年度に立会川緑道の桜77本について、樹木診断を行いました。全体の約7割は健全か健全に近いと判定され、すぐに植替える必要はありませんが、根や幹の材の腐朽や病害虫等の被害が見られ、樹勢が衰退傾向の桜もあります。

H30年度樹木診断結果



桜に発生したキノコ



腐朽し空洞となった根元

- A: 健全か健全に近い
- B: 注意すべき被害が見られる
- C: 著しい被害が見られる
- D: 不健全

立会川の歴史

碑文谷、清水の両池を水源にして目黒区南部を流れ、やがて東京湾にそそぐ立会川。かつては、この川には小魚が群れ、ホタルが飛び回り、両岸には桜の木が植えられていました。昭和39年には暗渠となり、今は川の姿を見ることはできませんが、川の流れとともに姿を消した橋の名を刻んだ石の親柱が再現され、昔の面影をかすかに偲ばせています。



昭和20年代の立会川

緑道の問題点

立会川緑道は、立会川にコンクリート構造物による蓋掛けをし、その上に盛土をして造られた人工地盤上(ビルの屋上緑化と同じ構造で、大きな植栽鉢のような造り)の緑道です。

このため、土壌が固まりやすく、乾燥しやすい土壌となっています。また大型のソメイヨシノには、根の生育範囲が狭い状況となっています。



立会川緑道の桜

検討会の様子

桜並木の景観を将来にわたって引き継ぐため、平成30年度に検討会を3回開催して、地域の皆さまと将来像について検討しました。今後も皆さまとともに、立会川緑道の桜を将来にわたって守っていきたいと思います。



検討会の様子

立会川緑道
サクラ再生
実行計画

桜並木の再生に向けて

保全 現在の桜を健全に育てて、できる限り長く残していきます。

施肥をします

根の活力不足でやや弱っている木には、根の周りに穴を掘って固形肥料を施して活力を向上させます。

定期的に剪定をします

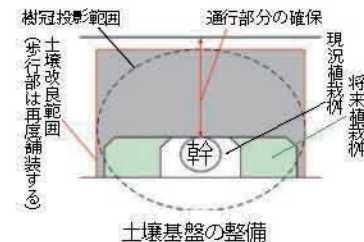
枝葉を伸ばすことのできる範囲に限られている街路では、生長する桜の樹形をコントロールする必要があるため、定期的に剪定をします。

また、枯枝や衰弱した枝は、落枝する危険性があるため随時剪定をします。

更新 桜を植える際に、健全な生育環境を整備します。

土壌基盤を広くします

将来の樹冠投影範囲となるようにできるだけ広い範囲に対し、人工地盤までの深さを対象として整備します。なお、植栽鉢の範囲は、歩行者の安全や車いすの通行を考慮したうえで、樹冠投影範囲内でできる限り広がります。



土壌改良をします

土壌基盤が浅く、狭いため乾燥しやすいことから、抜根後、良質客土を投入し、保水性改良材(真珠岩系パーライトやヤシガラ等)を整備範囲に対して10~30%程度混合します。

桜守活動

桜守活動は、地域の方で地域の桜を守るボランティア活動のことです。桜並木を保全していくためには地域の皆さまの参加が大きな力になります。清掃活動や桜の計画的な観察、保全活動などの桜守活動を進め、地域の皆さまと立会川緑道の桜を後世に伝えていきます。

<桜守活動の例>

- ①日常的な点検・観察
- ②施肥
- ③桜のPR活動
- ④桜の伐採材を活用した工作
- ⑤次世代の苗木の育成



桜の花芽観察

桜の写真提供：(公財)日本花の会

桜の品種紹介



カワツザクラ (河津桜)
花は紫紅色の大輪でソメイヨシノよりも早く咲く。



コシノヒガン (越の彼岸)
花の雰囲気はソメイヨシノに似ていて、やや小型である。

桜の開花カレンダー

品種 \ 開花期	2月	3月
カワツザクラ	—	
コシノヒガン		—

目黒のサクラ基金

サクラ基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。か、みどり土木政策課までお問い合わせください。

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakin.html>



ふるさとチョイス HP

目黒のサクラ保全事業の流れ

1

樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の健康状態を把握します。倒木の危険がある桜については伐採を行い、安全確保を図ります。

2

サクラ再生 実行計画の作成

桜の保護や植替えなどの将来像について地域の皆さまと検討を行い、地域にあったサクラ再生実行計画を作成します。

3

保全・更新

サクラ再生実行計画に基づき、桜の伐採や抜根、植替えを行います。また、弱っている桜を保護します。

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課施設計画係

〒153-8573 東京都目黒区上目黒 2-19-15

TEL.03-5722-9745 FAX.03-3792-2112



さくらちゃん